

令和6年度 第1回羅臼町ゼロカーボン推進協議会 会議録（概要）

●日 時 令和6年10月4日（金）16時～

●場 所 役場2階 庁議室

●出席者 別紙出席者名簿のとおり

●内 容

◎羅臼町ゼロカーボン推進協議会の設置について説明 ⇒ 特に意見等なし

◎役員選出について ⇒ 会長は羅臼町（町長）、副会長は羅臼漁協で承認得られた

◎議題

- 1) 羅臼町ゼロカーボンシティに向けた取組について
資料1を用いて町のゼロカーボンに向けた取組を説明（事務局）
- 2) 羅臼町再エネ促進区域の設定等に向けたゾーニングについて
資料2-1～2-4を用いてゾーニングについて説明（事務局）
- 3) その他
今後のスケジュールについて説明（事務局）

【質疑応答】

●今後羅臼町内で実施していく各種再エネ事業について、事業者はどのように選定していく方針か。（協議会員）

⇒事業者の選定については今後検討していく。今年度ゾーニングマップを作成し促進エリアや事業可能性エリアを設定することで、今後の事業者誘致に活用することが可能である。（事務局）

●ゾーニング事業のゴールはどこか。各種再エネ事業の具体的な検討までを今年度中に実施する予定か。（協議会員）

⇒ゾーニング事業は、町内の各種再エネ導入の可能性を調査し、町として可能性についてのエリアを設定する事業であり、具体的な各種再エネ事業の検討は別枠で実施することとなる。なお、今年度促進エリアと設定した区域であっても、再エネ導入に際してクリアすべき環境条件を付すため、すぐに導入が実現するわけではないことに留意いただきたい。（事務局）

●羅臼町は、海、山が近い特殊な地形の地域性を有している。導入エリアの検討にあたって、土砂災害や地震災害の危険性へはどのように配慮するのか。（協議会内）

⇒（資料2-2）エリア条件の「土地の安定性等に係る情報」で洪水・津波・土砂災害等の災害の高いエリアは保全と設定する方針である。（事務局）

- （資料 2-1） p. 16 ヒアリング結果「風力発電」について、冬期の積雪・凍結による発電機への影響の観点が不足しているように思う。（協議会員）

⇒冬期の天候が風力発電に与える影響について、検討のうえ配慮事項として付す対応とさせていただきたい。（事務局）

- 再エネ導入検討の際には、需要家の位置を把握した上で、効率的な導入エリアの設定に留意すること必要である。（協議会員）

- 羅臼町は系統接続の制限が多いエリアであるが、ほくでんネットワークが担当し調整させていただく。（資料 2-2） エリア条件の「事業性に係る情報」地熱ポテンシャルについて、エリア名が「好適」となっているが「事業可能性」との差異はどのようなものか。（協議会員）

⇒地熱ポテンシャルの「好適」は「事業可能性」と同義であるため、統一させていただく。（事務局）

- （資料 1） p. 9 の今後の取組みについて、財源の目処を教えて欲しい。（協議会員）

⇒まずは脱炭素先行地域づくり事業の補助金獲得を目指しており、バイナリー発電や熱利用に充てることを検討している。（事務局）

- 脱炭素先行地域を目指すにあたって、他地域の事例紹介などがあれば町民もイメージが付きやすいと思う。事業検討の際には、町民のために実施する姿勢や、町民に恩恵のある事業であることを大切にしてほしい。（協議会員）

⇒再エネ等の導入にあたっては、事業者による域外売電のスキームではなく、域内への電力供給により電気代高騰を防ぐなど、地域の皆さんに還元できる事業とできるよう検討を進めていく。（事務局）